

6 日本経済の動向 Developments in the Japanese Economy

(1) 景気の変化 Change of the Economic Condition

		景気 Business cycle	主な出来事 Incident	実質経済 成長率 (%) Real GDP Growth	消費者 物価指数 (前年比%) Consumer Price Index (Changes from previous year)	公定歩合 (年末値) (年率%) Central bank discount rate (end of year)
1967	42	40年10月～45年7月 (いざなぎ景気)		10.4	4.0	5.84
68	43			8.5	5.3	5.84
69	44			10.3	5.2	6.25
1970	45	46年12月～48年11月 (好況)	1971.12. スミソニアン体制	7.4	7.7	6.00
71	46			5.5	6.3	4.75
72	47			9.0	4.9	4.25
73	48			8.8	11.7	9.00
74	49			▲0.1	23.2	9.00
75	50	50年3月～52年1月 (好況)	1975.11. 第1回サミット(ランブイエ)	4.4	11.7	6.50
76	51			2.9	9.4	6.50
77	52			4.0	8.1	4.25
78	53	52年10月～55年2月 (好況)	1979.11. 第2次石油危機	5.3	4.2	3.50
79	54			6.5	3.7	6.25
1980	55			1.1	7.7	7.25
81	56	58年2月～60年6月 (ハイテク景気)	1985.9. G5 プラザ合意	2.9	4.9	5.50
82	57			2.8	2.8	5.50
83	58			1.6	1.9	5.00
84	59			3.1	2.3	5.00
85	60			5.1	2.0	5.00
86	61			3.0	0.6	3.00
87	62			3.8	0.1	2.50
88	63			6.8	0.7	2.50
89	平成元	5.3	2.3	4.25		
1990	2	61年11月～平3年2月 (バブル景気)	1990.8. イラクのクウェート侵攻 1991.1. 湾岸戦争勃発 1993.12. ガットウルグアイ・ラウンド交渉妥結	5.2	3.1	6.00
91	3			3.4	3.3	4.50
92	4			1.0	1.6	3.25
93	5			0.2	1.3	1.75
94	6			1.1	0.7	1.75
95	7			1.9	▲0.1	0.50
96	8			2.6	0.1	0.50
97	9			1.6	1.8	0.50
98	10			▲2.0	0.6	0.50
99	11			▲0.1	▲0.3	0.50
2000	12	11年1月～12年11月 (IT景気)	2001.9. 米国同時多発テロ事件発生 2003.3. イラク戦争 2006.7. 日銀、ゼロ金利解除 2007.8. 米国サブプライムローン危機勃発 2008.9. リーマン・ショック	2.9	▲0.7	0.50
01	13			0.2	▲0.7	0.10
02	14			0.3	▲0.9	0.10
03	15			1.4	▲0.3	0.10
04	16			2.7	0.0	0.10
05	17			1.9	▲0.3	0.10
06	18			2.0	0.3	0.40
07	19			2.4	0.0	0.75
08	20			▲1.2	1.4	0.30
09	21			▲5.2	▲1.4	0.30
10	22	3.9	▲0.7	0.30		

Note: 1. 実質経済成長率は、80年までは68SNA、90暦年基準、81年以降は93SNA、95暦年基準、1995年以降は連鎖方式による

Real GDP growth was calculated by the SNA68 on the 1990 calendar-year basis until 1980; by the SNA93 on the 1995 calendar-year basis in and after 1981; and by the chain method in and after 1995.

2. 消費者物価指数は、71年以降は05年暦年基準、それ以前は00年暦年基準

Consumer Price Index is on the 2000 calendar-year basis until 1970, and on the 2005 calendar-year basis in and after 1971.

Source: 内閣府資料(旧経済企画庁「国民経済計算年報」、旧総務庁「消費者物価指数年報」含む)、日本銀行「物価指数月報」「経済統計年報」等より作成

Compiled from data available from the Cabinet Office (including the ex-Economic Planning Agency's "Annual Report on National Accounts and the ex-Management and Coordination Agency's "Annual Report on the Consumer Price Index"), BOJ's "Price Indexes Monthly" and "Economic Statistics Annual," etc.

(2) 基調判断の変化 Assessment of the Current State of the Economy

報告月	該当月	基調判断	輸出	輸入
2009年 4月	2月	景気は、急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。	持ち直しの動きがみられる。	緩やかに減少している。
5月	3月	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ悪化のテンポが緩やかになっている。	持ち直している。	下げ止まりつつある。
6月	4月	景気は、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。	//	持ち直しの動きがみられる。
7月	5月	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。	//	下げ止まりつつある。
8月	6月	//	//	持ち直しの動きがみられる。
9月	7月	景気は、失業率が過去最高になるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。	//	//
10月	8月	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。	アジア向けを中心に、増加している。	持ち直している。
11月	9月	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。	//	//
12月	10月	//	//	//
2010年 1月	11月	//	//	//
2月	12月	//	緩やかに増加している。	緩やかに持ち直している。
3月	2010年 1月	景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。	//	//
4月	2月	//	//	//
5月	3月	//	//	//
6月	4月	景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。	//	//
7月	5月	//	//	//
8月	6月	//	//	//
9月	7月	景気は、引き続き持ち直してきており、自律的回復に向けた動きもみられるが、このところ環境の厳しさは増している。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。	このところ増勢が鈍化している。	//
10月	8月	景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。	このところ弱含んでいる。	//
11月	9月	//	//	このところ増勢が鈍化している。
12月	10月	//	緩やかに減少している。	横ばいとなっている。

Source: 内閣府 月例経済報告より作成

Compiled from Cabinet Office Government of Japan's Monthly Economic Report.